

ハッピータイムだより

令和5年5月26日
東大阪市立北宮こども園

子どもたちが入園、進級をして1か月半が過ぎました。4月当初、不安な顔をしながらドキドキ過ごしていた子どもたちも、大好きな先生に気持ちを受け止めてもらいながら少しずつ園生活に慣れ、友だちと笑顔で登園したり、好きな遊びを楽しんだりする姿が見られるようになってきました。

気温が高くなる日も増えてきましたが、園庭で遊ぶときはしっかりと水分補給子を行いながら、元気いっぱい遊びを楽しんでいます。

子どもたちから「ハッピータイム」という言葉を耳にされることと思います。北宮こども園では、クラスで遊ぶ時間以外に、全園児が交流して遊ぶ時間を「ハッピータイム」と呼んでいます。子どもたちがワクワクするような楽しい時間という意味で名付けられました。

自分のしたい遊びに夢中になったり、遊びながら工夫したり、試したり、発見したり、友だちと考えを出し合ったり、協力したりと、幼児期に必要な経験を日々積み重ね、遊びを通してたくさんのことを学んでいます。

「ハッピータイム始まるよ!」と元気な子ども達のマイク放送で、一斉に好きな遊びの所に走り出しています。

<ハッピータイムで大切にしていること>

◎子どもたちの「やってみたい」「明日もしたい」を大切にします。

色々な遊びの中から自分で選ぶことで**選択する力**が身につきます。そして子どもたちは遊びの中でたくさんのことを学びます。子どもたちが夢中になって楽しめるよう、「明日も続きがしたい」という意欲や見通しをもって活動できるようにと考えています。

◎五感で感じる遊びを大切にします。

子どもたちの五感（見る、聞く、嗅ぐ、味わう、触る）を刺激するような楽しい遊びや経験は、感性を豊かにし、**表現する力**が身に付きます。

◎異年齢での関りを大切にします。

クラスの枠を超えて、沢山の友だちと関わることで刺激を受け、**憧れの気持ち**や**思いやりの気持ち**が育ちます。

◎遊びの準備や片づけを自分たちで行います。

遊びに必要なものを考え、友だちと協力して準備をしたり遊んだものを責任をもって最後まで片づけられるようにする事で**規範意識**や**協力する力**、**主体性**が身に付きます。

◎遊んだ後の話し合いを大切にします。

楽しかったこと、困ったことなど話し合い、遊びを振り返ることで**自分の気持ちを伝えたり**、**友だちの思いを聞く力**や**明日への遊びへの意欲**につながります。

朝登園してきたら、
みんなで元気一杯
体操をします。



春は花がいっぱ
いです。

子どもたちで考え、トンネルをつな
げています。



どこから入る？
向こうとつながってるね。



砂場では、摘んできた花
を飾ったごちそうでパー
ティーの始まりです。



先生、見て見て。豆の
ケーキできたよ。



摘んできた花で色水を
つくったり、イチゴや梅
の実でジュースを作っ
たりと、お兄ちゃんお姉
ちゃんに教えてもらっ
ています。

ジーっと観察



いちごできたかな？

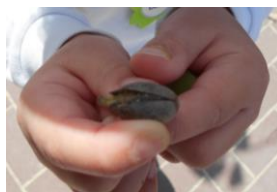


花を飾ったペンダントやお花のピザは
子どもたちにとって宝物です。



風車回るかな？

友だちと一緒に作
った風車。風が吹
くのをじっと待っ
ています。



どんぐりなにか
でたよ

「どんぐりなにかでたよ」
嬉しさと驚きをみんなに伝えたい！

昨年秋に植
えたどんぐ
り。なんと
芽がでてき
ました。